

新年のごあいさつ

秩父市長 久喜 邦康

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、完成した新しい秩父宮記念市民会館では、市民オペラの上演やクラシックバレエ、NHKのご自慢の公開放送などをはじめ、市民の方々が真剣に練習されている芸術や文化の公演、発表が目白押しに開催されています。これは皆さまが心待ちにしていた芸術・文化の殿堂がこの地にできたからこそであり、今後、都内の著名な催しなども、自然豊かで、駅からもほど近いこのホールで開催され、市民の皆さまはもとより、秩父地域外からも宿泊や観光を伴うお客さままで賑わう会館となっていくような予感がします。

さて、3期目の市政の舵取りを担わせていただいています。私は、秩父市を「日本一しあわせ」にしていくため、市民の皆さまとともに「発展・充実・運用」をキーワードに今年も諸施策に取り組んでまいります。

今年、特に「環境立市ちちぶ」を全面にエネルギーの地産地消への足掛かりをつくってまいりたいと存じます。豊富な森林資源や秩父の地形的特徴を生かして生み出されるクリーンエネルギーを秩父地域内で循環させ、雇用を創出するとともに新たな行政需要にも応えてまいります。

また、行政の情報や秩父地域内で行われるイベントなどの情報をわかりやすい形で提供する仕組みにより、さらに行き届いた情報の開示にも努めたいと思います。

さらに、市民の皆さまが強く求めている働き場を確保していくためにも、企業誘致に力を入れ、幹線道路の慢性的な渋滞の解消に向けての対策をしていかなければなりません。これには、国・県との連携を強化することはもちろん、秩父地域1市4町で強力に進めている、ちちぶ定住自立圏のさらなる推進により「日本一しあわせなまち ちちぶ」を創り上げていくことが肝要です。

皆さまとともに手を携え、子どもたちの希望に満たされた声がこだまし、住んでいる人も訪れる人も笑いあひ、高齢の方々も健康で楽しく暮らせる秩父市となるよう、今年も、市政に対する変わらぬご理解、ご協力を賜りますとともに、市民の皆さまにとって輝かしい年となりますことを心からお祈りいたしまして、年頭に当たってのごあいさついたします。